

「里山再生モデル事業」事業計画
(飯舘村：村民の森あいの沢周辺)

平成28年12月22日
復興水産庁
農林水産省
環境省

1. 本事業の目的

村の中心部に位置する村民の森あいの沢周辺の森林の除染や、間伐等の森林整備を行うとともに、空間線量等測定により放射性物質等の状況を把握し、地域住民の安心・安全に向けた環境づくりを目指す。

また、本事業の成果について、原子力災害を受けた里山の再生に寄与するものとする。

【現 状】

- モデル地区には、平成28年3月に一部を再開した宿泊体験館「きこり」のほかキャンプ場などがあり、村民や施設利用者の憩いの場として利用されてきた。
- 飯舘村は、原発事故後、避難指示が解除されておらず、全村民が避難を余儀なくされている。
- 飯舘村は、平成29年3月の避難指示解除に向け、帰還のための環境整備を進めており、村民の森林除染への関心度は高い。
- 飯舘村は、「いいたて までの復興計画」（平成27年6月改訂）を策定し、帰村者の生活環境の整備や生活支援、再生可能エネルギーの利用など、復旧・復興の取組を進めている。

2. モデル地区の概要

位 置：飯舘村深谷地内ほか 村民の森あいの沢周辺

区域面積：約87ha うち森林約72ha（国有林約15ha、民有林約57ha（村有林約4ha、私有林約53ha））

地区戸数：1戸

利用の方向：村民や施設利用者の憩いの場として活用する。

3. 事業実施期間

平成28～31年度

4. 事業実施主体

国、飯舘村

5. 事業内容

本事業は、以下の各事業を組み合わせる実施することとする。

(1) 村民の森あいの沢周辺の森林の除染

村民の森あいの沢周辺の森林において、国直轄除染事業で除染を実施する。除染の範囲及び手法は、同森林内で「きこり」等の施設の利用者等の散策・野外活動の場として日常的に立ち入る場所（遊歩道、ベンチ周辺等）の堆積物除去等を予定。具体的な除染の実施範囲及び手法については、より詳細な調査を踏まえて決定する。

(2) 間伐等の森林整備

避難指示解除準備区域等の林業再生に向けた実証事業等を活用し、間伐等の森林整備を実施する。具体的な森林整備の内容や実施区域は、森林の状況等詳細な調査を実施した上で決定する。

(3) 線量マップの作成など各種線量測定

福島再生加速化交付金（帰還環境整備）「個人線量管理・線量低減活動支援事業」（内閣府）を活用し、当該モデル地区の線量マップを作成する。

6. 事業工程（予定）

下記の事業工程（予定）で各事業を進めていく。

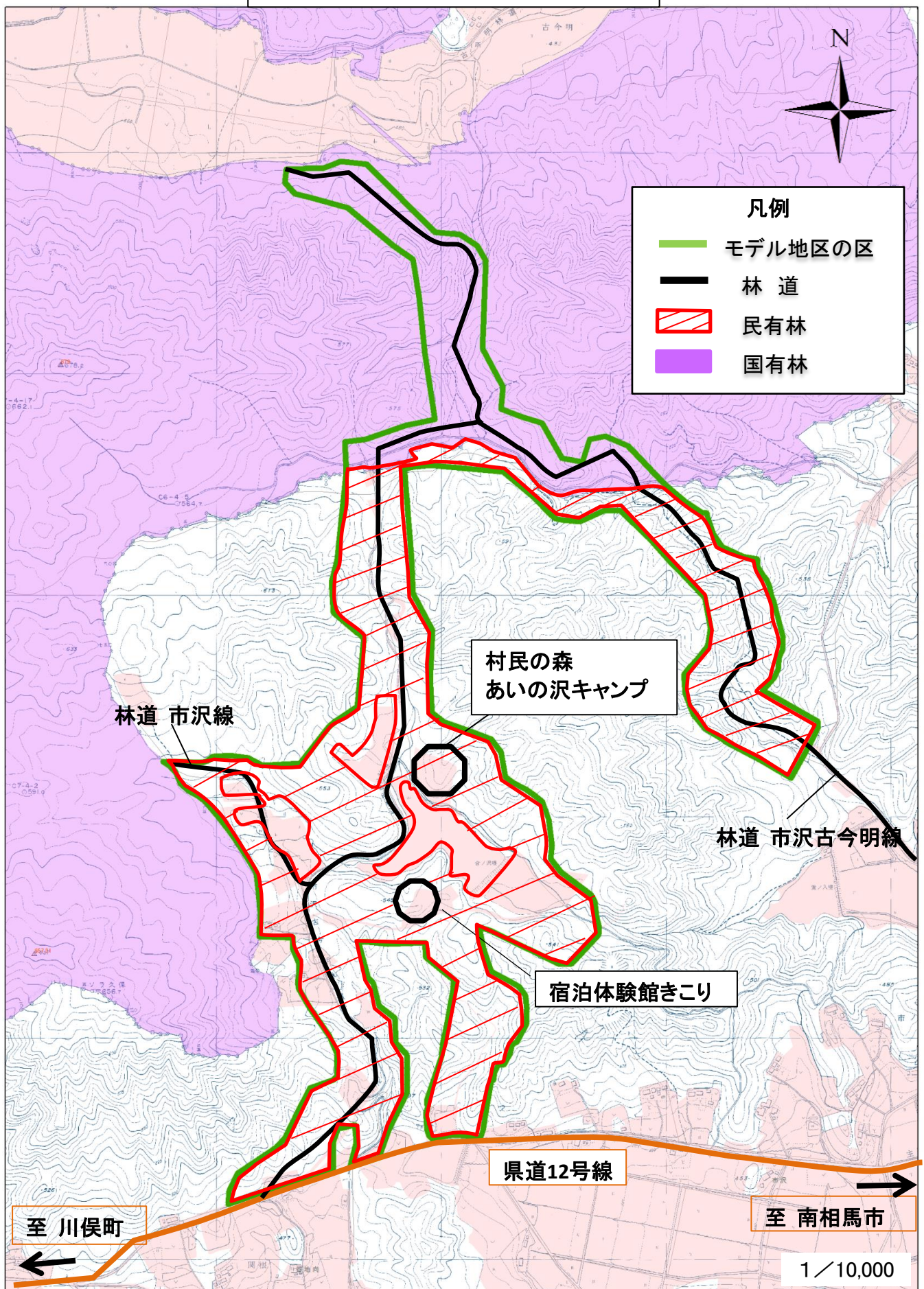
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
除染	詳細調査・除染範囲決定 →	除染等の実施 →	事後の線量測定等 →	事後の線量測定等 → 効果の検証・取りまとめ →
森林整備	詳細調査 →	森林整備等の実施 →	モニタリング →	取りまとめ →
線量測定	事業内容の調整・決定 →	測定、マップ作成等 →		測定、マップ作成等 → 取りまとめ →

飯舘村 位置図

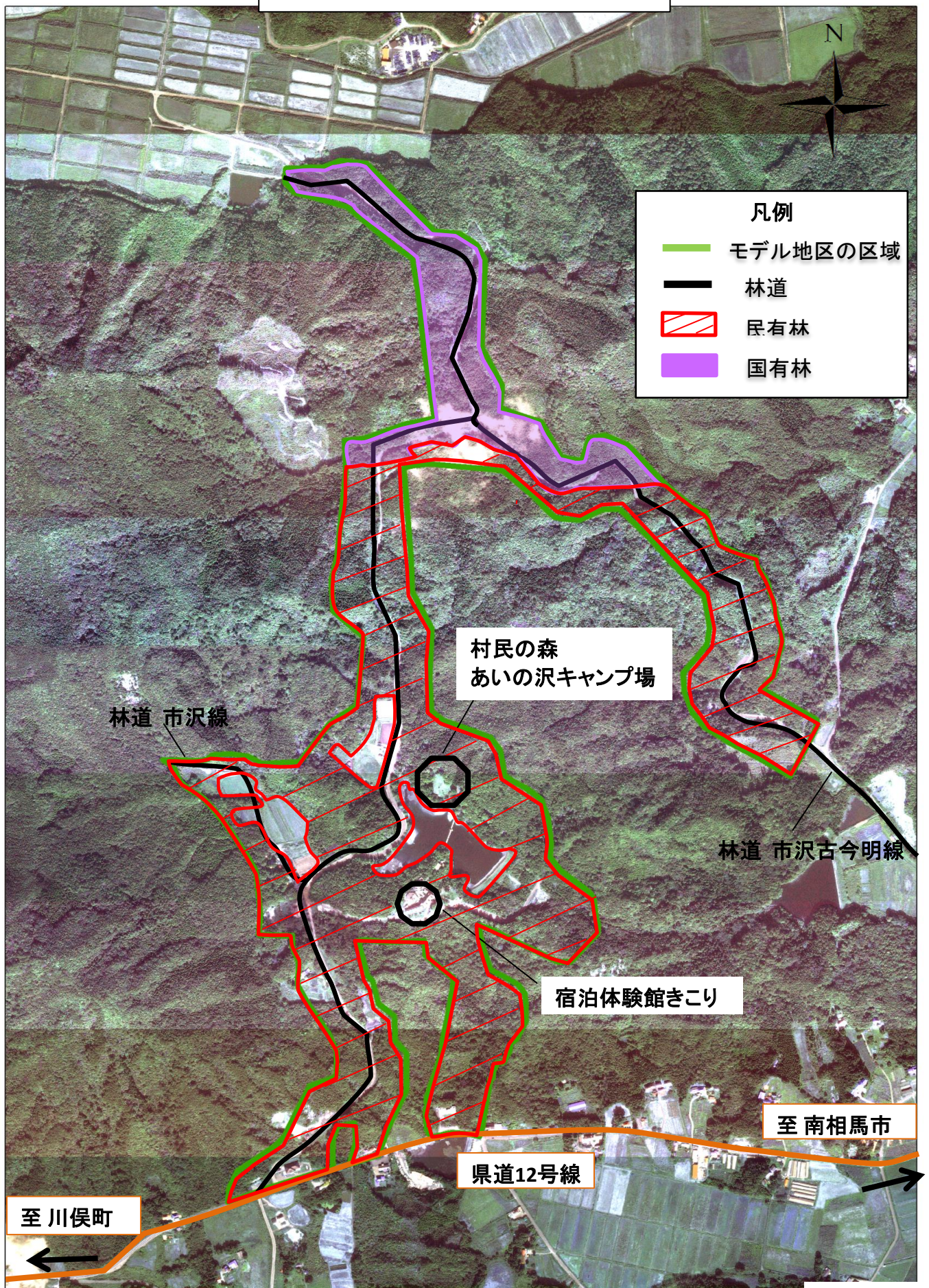


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図及び2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平28情複、第895号)
承認を得て作成した複製品を第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

飯舘村 モデル地区の概況図



飯舘村 モデル地区の概況図



1/10,000

モデル地区写真資料
(飯舘村：村民の森あいの沢周辺)

(写真1：周辺の状況)



(写真2：キャンプ場)



(写真 3 : イベント広場)



(写真 4 : 森林の状況)

